

# めぐみイエス・キリスト教会

2024年8月11日(日)第二主日礼拝

午前10時より

週報「通算第719号」



2024年標題聖句

マタイの福音書第6章33節

《まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべて、それに加えて与えられます。》

第一礼拝(教会にて) 毎週日曜日 午前10時～11時

第二礼拝※中止

聖書の学びと祈り会 毎週水曜日 午後6時～(各家庭にて)

牧師 鈴木 竜 実  
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

## ◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌465「いつかは知らねど」 p. 748

【交読文】 No.45 詩篇第146篇 p. 915

【賛美Ⅱ】 新聖歌385「主よ終わりまで」 p. 620

【使徒信条】

【主の祈り】

【前回説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナル曲「父なる神の愛」

【聖書朗読】 ルカの福音書6章24節～26節(新約p. 121下段)

【礼拝説教】 《哀れな者とは？》

【聖餐式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌166「威光・尊厳・栄与」 p. 236

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

### ※本日の聖書箇所(ルカの福音書6章24節～26節)

6:24 「しかし、富んでいるあなたがたは哀れです。あなたがたは慰めをすでに受けているからです。

6:25 今満腹しているあなたがたは哀れです。あなたがたは飢えるようになるからです。今笑っているあなたがたは哀れです。あなたがたは泣き悲しむようになるからです。

6:26 人々がみな、あなたがたをほめるとき、あなたがたは哀れです。彼らの先祖たちも、偽預言者たちに同じことをしたのです。」

## ●ポイント1. 「前回のメッセージの聖書箇所」から

### ※ルカの福音書6章20節～23節「主の幸いの定義」 (新約p.121)

6:20 イエスは目を上げて弟子たちを見つめながら話し始められた。「貧しい人たちは幸いです。神の国はあなたがたのものだからです。  
6:21 今飢えている人たちは幸いです。あなたがたは満ち足りるようになるからです。今泣いている人たちは幸いです。あなたがたは笑うようになるからです。  
6:22 人々があなたがたを憎むとき、人の子のゆえに排除し、ののしり、あなたがたの名を悪しざまにけなすとき、あなたがたは幸いです。  
6:23 その日には躍り上がって喜びなさい。見なさい。天においてあなたがたの報いは大きいのですから。彼らの先祖たちも、預言者たちに同じことをしたのです。」

## ●ポイント2. 「哀れな者」とは？

### ※ルカの福音書16章19章～26節「ラザロとダイブス」(新約p.151下段)

### ※マタイの福音書16章26節「主イエス様の言葉から」 (新約p.34)

16:26 「人は、たとえ全世界を手に入れても、自分のいのちを失ったら何の益があるでしょうか。そのいのちを買い戻すのに、人は何を差し出せばよいのでしょうか。」

## ●ポイント3. 「偽預言者たちに同じことをした」とは？

### ※第Ⅱテモテ4章2節～4節「使徒パウロの勧めから」 (新約p.429)

4:2 み言葉を宣べ伝えなさい。時が良くても悪くてもしっかりとやりなさい。忍耐の限りを尽くし、絶えず教えながら、責め、戒め、また勧めなさい。  
4:3 というのは、人々が健全な教えに耐えられなくなり、耳に心地よい話を聞こうと、自分の好みにしたがって自分たちのために教師を寄せ集め、  
4:4 真理から耳を背け、作り話にそれて行くような時代になるからです。

## ◎先週の礼拝メッセージ【主イエスの言われる幸いとは？】

《主イエスは、集まっていた群衆に神の国について教えられました。この教えは、「平地の説教」と言われ、「山上の垂訓」と多くの共通点がありますが、別の場所の教えであることは、明らかです。よって、主イエスはこの教えを様々な場所で、語られたことが考えられます。「貧しい人たちは幸いです。今飢えている人たちは幸いです。」

これを聞いた人々は、我が耳を疑ったことかと思えます。どうして、貧しく、食物もなく飢えていることが幸いなのでしょうか。マタイでは、「心の貧しい者は幸いです。義に飢え渴く者は幸いです。」となっています。「心の貧しい者」とは、へりくだっている者のことです。

そして、「義に飢え乾く者」とは、魂への助けと救いを求める者のことです。また、真理と真実を探し求めている人のことです。やがて、その人は見つけ出します。救い主である主イエス・キリストを。

ルカは、マタイが書き記していないことを書き記してします。「今泣いている人たちは幸いです。あなたがたは笑うようになるからです。」と。実は、これは預言なのです。黙示録において、主イエスは、『神は彼らの目から涙をことごとくぬぐい取って下さる。もはや死はなく、悲しみも、叫び声も、苦しきもない。以前のもものが過ぎ去ったからである。』と、約束されています。

そして、主イエスは私たちが迫害されること、人々から憎まれることを語られました。なぜ、憎まれるのでしょうか。それは、私たちがこの世のものではないからです。また主イエスとクリスチャンを憎む敵が、存在しているからです。その敵とは、悪魔と悪霊どもです。私たちは、霊的戦いの最前線に置かれています。「主イエスの言われる幸い」とは、主に出会い救われたこと、神の子どもにされたこと、そして永遠の命をいただいたことです。私たちの国籍は天にあるのです。》

### お知らせ

※8月18日(日)第三主日礼拝は、都合によりお休みします。よって、次回は8月25日(日)第四主日礼拝となり、午前10時から行ないます。